

第 2 回 ICAT Young Lectureship Azuma Award 受賞者決定のお知らせ

触媒科学研究所では共同利用・共同研究拠点活動として、2006 年より情報発信型国際シンポジウムを開催してまいりました。このシンポジウムは海外の触媒研究拠点において開催し、日本の優れた触媒関連研究の成果を広く国外に周知することを目的としております。特に若手触媒研究者が国際舞台で活躍することを支援する目的で、同シンポジウムにおける若手招待講演者を公募する取組を、触媒学会との共同企画（触媒学会協賛事業）として 2018 年度から開始しました。

昨年度に続き、新型コロナウイルス感染拡大の予防措置として 2022 年 3 月 4 日にオンラインで開催する運びとなりました。触媒学会を通して、若手招待講演者を公募して頂きましたところ、多数の優れた若手研究者からの応募を頂きました。同学会の企画・教育委員会における厳選なる審査を経まして、下記 2 名の方を触媒学会からご推薦いただきました。触媒科学研究所はこの 2 名の先生方に招待講演をお願いするとともに、ご講演当日、ICAT Young Lectureship Azuma Award（触媒科学研究所東記念若手講演賞）を授与して、そのご業績を永く後世に刻むことといたしました。

第 2 回 ICAT Young Lectureship Azuma Award（名字のアルファベット順）

Dr. SATO Katsutoshi 佐藤 勝俊 博士	Designated Associate Professor (特任准教授)	Department of Chemical Systems Engineering, Graduate School of Engineering, Nagoya University	名古屋大学大学院 工学研究科 化学システム工学専攻
Dr. YATABE Takafumi 谷田部 孝文 博士	Assistant Professor (助教)	Department of Applied Chemistry, School of Engineering, The University of Tokyo	東京大学大学院 工学系研究科 応用化学専攻

ICAT Young Lectureship Azuma Award（触媒科学研究所東記念若手講演賞）について

東市郎先生は北海道大学の免疫研究所で長年教授を勤められ、免疫研究所長、北海道大学副学長、函館高等専門学校校長を歴任されました。その間、触媒科学研究所の前身である触媒化学研究センターの第 5 代センター長（1994.4－1996.3）に就任され、触媒化学研究センターの基礎を築かれました。その後も長年運営委員として、触媒化学研究センターの運営に携わり、ご指導いただきました。東先生から平成 31 年にご寄付を賜りましたので、触媒科学研究所では基金を創設し、触媒学会から推薦された情報発信型国際シンポジウム若手招待講演者に ICAT Young Lectureship Azuma Award を授与することとしました。